



若き力

第6号

平成29年5月25日
(木曜日)

文 責
大熊中学校
早川 良一

〒965-0003 福島県会津
若松市一箕町大字八幡
字門田9の2
電話 (0242) 23-7214
Fax (0242) 37-7157

教育目標 「日本の伝統を重んじ、世界と未来に目を向けながら、互いに認め合い、学びを高め合う、たくましい生徒」

平成29年度重点目標 「自分の課題を持ち、自分で考えて見通しを立て、最後までやり遂げる生徒」

教育と笑いの会in大熊



野口芳宏先生（教育と笑いの会名誉会長、植草学園大学名誉教授）



教育の場と笑いの会

5月23日、笑いの場を意図的に設け、生徒自身が漫才や落語を作り出すことを通じて、元氣と活力を取り戻すとともに、思考力・判断力・表現力を培うことを目的に行われました。



ました。午後には桂雀太さんの落語、野口芳宏先生の教育漫談、パネルディスカッションが行われました。パネラーとして武内教育長さん、大野小の栗城先生、PTA代表として廣嶋さんが務め、野口先生のコーディネートのもと、教育現場や家庭内での意図的な笑いの必要性を経験や現状を踏まえながら各自の考えが述べられました。さらに、教育長さんからは「避難生活が続く中、住民や保護者、職員は必死に子どもたちの健全な成長のために努力し走り続けてきた。今こそ心のサービスエリアが必要である。教室に笑いを！」などのお話もいただきました。扇子と手ぬぐい、目録や

「漫才・ネタづくりに挑戦」
属「福島県住みます芸人」を講師にお招きし、3回各2時間の指導を受けながらネタづくりに挑戦し、1学

6月からは、吉本興業所
導きたいと思えます。

「漫才・ネタづくりに挑戦」



桂雀太さん（28年度NHK新人落語大賞受賞）



小学4～6年生の国語の授業の様子

期末に発表会を行う予定です。



囲み取材を受ける本校生徒。質問にもテキパキと